

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年 1月31日

事業所名 ガーデンキッズセルク

保護者等数(児童数)73 回収数 38 割合 52%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	6	0	1	・限られたスペースを有効に利用している。	・排泄については、各クラスのリーダーが活動の順番や活動内容を調整し、トイレでの混雑を軽減できるよう努めています。 ・運動活動では理学療法士の助言を参考に、療育室のスペースで行うことのできる効果的な運動遊びを取り入れています。また、マルヤガーデンズ7階のソラ庭や近隣の公園等、活動内容に応じて屋外での運動あそびも取り入れています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	35	1	0	2	・自分自身に何の専門性もないのでわからない。	・職員数においては、配置基準を十分に満たしています。専門性については、児童発達支援の基礎的な研修から放課後等デイサービス関係の研修等へ全員が均等に参加できるようにしています。 ・公認心理師、言語聴覚士、理学療法士を配置し、適時療育についての助言を得て支援の参考にしています。また、ご要望に応じて、専門職との面談等も設定しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34	3	0	1		・お子さまが見通しをもちやすいよう絵カード等でのスケジュール提示や活動により空間を仕切る等の環境調整をしたり、理学療法士や言語聴覚士、公認心理師の助言も取り入れながらセルクで可能な支援を最大限行えるよう努めています。 ・必要に応じて保護者と相談しながら、お子さまがより活動内容を理解し取り組めるよう、必要に応じて個別に手順カードや絵カードを活用しています。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	38	0	0	0	・いつもキレイにしてある。	・活動前後に換気、トイレや玩具、各ドアノブ等の消毒、清掃を行い、清潔な環境を保つよう努めています。 ・適宜空調や加湿器を使用し、今後もお子さまが過ごしやすい環境作りに努めています。
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	38	0	0	0		・個別支援計画作成の際には聞き取りシートの活用、また、直接ご意見の聞き取りもしています。また、相談支援員と連携を図り、担当者会議等で聞き取りをした意向を支援計画に取り入れ、統一性のある支援計画作成に努めています。
適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	36	1	0	1	・子どもの発達状況をよく理解し、それに合わせて支援してもらっており、ありがたい。	・地域支援については、地域の幼稚園や保育園への就園に向けてのサポートや関係機関との連携等、具体的に保護者の方が見てわかりやすい内容になるよう努めます。 ・療育を受ける時間に落ち着いて参加できるだけでなく、地域(幼稚園、保育園、家庭、外出先等)の中で、お子さまが楽しく落ち着いて過ごせる為の力を高めることや、保護者が安心して過ごせることを目指し支援に努めています。 ・療育参観も実施しています。参観日以外でも希望される方は室内での見学が可能です。また、マルヤガーデンズ連絡通路側の窓はマジックミラーとなっている為、いつでも活動内容を見ることができます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	33	3	1	1		・事前にミーティングを行い、活動の流れや支援内容の確認、役割分担について打ち合わせを行っています。また、お子さまの状況や重点的に支援する内容について、日々のミーティングにて職員間で共通理解し、統一した支援ができるよう情報共有に努めています。

8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	34	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・何度か同じプログラムを受けたことがあるが、不満はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メインの活動だけでなく、自由遊びでは好きな遊びを楽しむことや、状況に応じた遊び方、友だちとの関わりを経験することを大切にしています。 また、自由遊び後のふれあい遊びでは年齢や子ども達の状態に合わせて日々継続的に取り組むことで安心して過ごしたり、保護者や友だちとふれ合ったりすることをより意識した活動になるよう努めています。 ・月の行事計画の際に、様々な活動を均等に体験できるよう努めています。 また、同じプログラムでもミーティング時に職員間でよりよい支援プログラムを目標に意見交換を行い、内容を変更したり追加したりしています。
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21	4	2	11		<ul style="list-style-type: none"> ・利用されているお子さま以外の方と一緒に活動をする機会はありませんが、利用している8~9割の方が幼稚園、保育園と併行通園をしています。 ・マルヤガーデンズとの共同企画としてハロウィンイベントを開催したり、買い物体験としてパン屋さんに行ったりと、地域社会の中で活動する機会を設けています。
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37	1	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・利用前の見学や契約の際に、運営規程、施設の紹介や児童発達支援の内容、活動プログラム、および利用料の説明を行っています。また、保護者からの質問等にはその都度返答を行っています。 ・今後も継続してわかりやすい説明に努め、即時対応に努めます。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	34	2	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を作成し、支援の目標や内容を保護者に説明しています。 ・日々の療育活動中や引継ぎ時に、遊びの意図や支援方法の説明を行っています。また、家庭で取り入れられる遊びや関わり方を提案する等、保護者が子育てに活かせる情報提供を行えるよう努めています。

12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	30	5	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したことはないが、機会があればぜひ参加したい。 ・ペアレントプログラムを開いてもらえる為、ありがたい。 ・いまいち子どもの特性や発達の具合等がわからず、何に気を付ければ良いのか、どのような対応をすれば良いのかわからないままである。 ・あったと思うが、時期が合わず参加できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・プログラムについては令和元年6月に実施しました。9月にはマルヤガーデンズと連携し、一般の方も対象に実施しました。今後もより多くの方に参加しやすい方法を検討していきます。 ・研修への参加や専門職の助言を取り入れること、職員間で話し合いながら活動内容や支援方法を探求し続けることで専門性を高め、保護者の参考になるような助言ができるよう努めていきます。 ・困り事や本人の実態を保護者とこまめに情報共有することで、子育ての方法を提案したり、親子の良好な関係づくりに繋がる助言を行ったりすることができるよう努めていきます。
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	34	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業した兄のことも今でも相談に乗ってもらえ、本当に救われる。 ・帰りの引き継ぎの時、職員によってはほぼその日の活動の内容の報告で終わることがある。もう少し、自由遊びでの様子や友だち、職員と関わった様子等も知りたい。 ・日頃の困りごと等気軽に相談している。その日の活動の内容や子どもの様子も細かく連絡してもらえてありがたい。本人が苦手としている場面や状況、その時期に生じている困りごとを共通理解してもらえるとありがたい。(してもらってはいるが、たまに伝わっていない時がある為) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の前後にミーティングを行い、活動の流れや支援内容の確認、お子さまの状況について、職員間で情報共有した上で支援ができるよう努めています。 ・保護者と一緒に参加される際には、活動の中で、お子さまの状況や関わり方の提案等を行っています。 ・単独通園をされているご家庭には、降園時の引き継ぎの際にお子さまの様子や支援方法をお伝えしています。活動内容だけではなく、コミュニケーション面等も踏まえて引き継ぎを行い、お子さまの事業所での様子についてより丁寧にお伝えすることができるよう努めていきます。 ・気になることや不安に感じること等、その都度、面談や電話連絡等にて相談に応じ、安心して日々の子育てができるよう今後もサポートに努めていきます。 ・保護者からの伝達事項は必ずミーティング時に共有し、全職員で共通認識を図るよう努めていきます。

保護者への説明等

14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	35	2	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望に応じて公認心理師や言語聴覚士、理学療法士と面談する機会を設けるようにしていますので、ご希望の際はお知らせください。 ・毎年5月に年長児の保護者全員への就学前個別相談、9月に個別相談を実施し、保護者からの要望や悩みについて話を聞き、担当職員が返答を行っています。また、期間以外でも希望によりその都度対応を行い、事業所側からも個別面談の提案を行っています。特に就学や就園を迎えるお子さまについては保護者が納得されるまで面談を行います。
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	6	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・参加できていない。 ・他の保護者と交流はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期の保護者会等、事前に日程をお知らせして実施しています。行事計画を早めに伝達し、多くの方が参加できるよう努めていきます。 ・今年度の保護者会は1回目を5月に、2回目を令和2年1月に実施しています。 ・保護者懇親会を年1回、夜に開催しています。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	36	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談が1週間後となると内容によりとてもきつい。返答は早めが助かる。 ・全体の共有がなされていないことが多い。 ・相談の場があり、親身になって聞いてくれる為、ありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容に応じてノートや登園時、降園時の引継ぎ時、面談、電話相談等にて対応しています。直接お話しすることが難しい際は電話連絡を行い、迅速な対応に努めていきます。 ・お子様の状況に合わせて公認心理師、言語聴覚士、理学療法士や相談支援員の方等とも連携を図るよう努めていきます。

17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	35	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎ後、相談したいことがあったが、職員が急いでいる様子で話ができないことがあった。 ・療育参観があと1～2回あるといいなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の案内等、おたよりや手紙を活用し、早めの案内をすることで安心してご利用いただけるように努めています。 ・療育の前後にミーティングを行い、情報の共有に努めています。保護者からの伝達事項は専用の用紙を活用し記録に残すことで確実性が高まるよう努めています。 ・保護者が安心して何でも気軽に相談することができるよう、職員一同対応力の向上に努めていきます。 ・療育参観については、ご希望の方は随時参加可能ですので、今後おたより等でご案内致します。
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	28	6	0	4		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度よりホームページにて業務に関する自己評価結果を掲載をさせて頂いています。また、活動等の様子やセルクだよりについては定期的にホームページに掲載しています。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	33	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろと配慮してもらっているが、引き継ぎの時に一般客が通る為、気になることがある。 ・小窓は子どもたちが見えないようにした方が良い。 ・同じ姓名の他の利用者の手紙を渡されたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人名の記載のある書類等、カバー付きのファイルを活用し、個人情報漏洩防止の為の対策を徹底していきます。 ・おたよりやホームページ等に画像を使用する際は、写真掲載同意書にて了承を得ているか職員2人以上で二重の確認を行っています。また、手紙等の配布物をお渡しする際も同様の処理で二重の確認を徹底していきます。 ・個人情報については人権擁護ハンドブックを活用し、管理の徹底に努めています。 ・個人情報は鍵付きの書庫で管理しています。また、幼稚園、保育園等の関係機関と連携を図る際には保護者の了承を得た上で実施しています。 ・降園の引継ぎ時には個人情報保護を目的とし、番号で保護者へ順番のご案内をしています。また、希望される方は、一般の方の目に付きにくい場所を準備し、1人ずつ引き継ぎを行うよう平成31年1月より変更しています。 ・小窓については今後検討を進めていきます。

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	30	5	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急災害時等、メールでの連絡がくるといわれるとよりスムーズだと思う。 ・あまり聞いたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難・消火訓練年間計画表を作成し、月ごとに火災、地震、噴火、津波、防犯の種別を決め、毎月午前、午後1回ずつ避難訓練を実施しています。各避難訓練ではお子さまの安全を最優先に様々なケースを想定した訓練を行い、前回訓練時の改善点を反映させながら、実施しています。また、非常時にはマルヤガーデンズと連携を図れるようにしています。 ・緊急時の避難場所や連絡先については、マルヤガーデンズ、地域生活支援センターあさひが丘、ガーデンキッズセルク、松原小学校(大地震等による避難場所)等です。 ・感染症対策では午前、午後の療育前後に清掃、除菌を行っています。除菌スプレーはお子さまが手に届かない位置で保護者の方にも利用できるよう設置しています。また、セルク利用者の感染症発症者人数を掲示し保護者にお知らせしています。 ・職員会議にて看護師より感染症に関する研修を受けています。嘔吐物処理については職員が全員訓練を実施することで実際に処理方法を体験し、即時に適切な処理や初期対応ができるよう努めています。 ・保護者へのマニュアルを作成し、保護者が閲覧できるように玄関に設置しています。 ・メールでの連絡については今後検討を進めていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教えてもらったことはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難・消火訓練年間計画表を作成し、月ごとに火災、地震、噴火、津波、防犯の種別を決め、毎月午前、午後1回ずつ避難訓練を実施しています。避難訓練の実施日については、活動の内容をお知らせするセルクだよりにてお伝えしています。実施後は訓練中の全体の様子やお子さまの様子について、引継ぎの際に保護者へ伝達を行います。また、実施内容について施設側の記録にも残し改善に繋がれるよう努めています。 ・マルヤガーデンズにて年2回実施されている地震消防総合訓練にセルク職員も参加しています。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	33	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく通えている。 ・いつも楽しそうに活動していて嬉しく思う。 ・とても楽しみにしている。 ・他の療育にはあまりないクッキングをとても楽しみにしている。 ・年齢が上がり、課題が簡単に感じる事が時々あるのか、家にいたいという日もある。行くと楽しんでいる。 ・活動に入ると楽しめている様子。時々行きたくない日もあるが、基本的には楽しみにしている。 ・迎えの際、楽しかったことを喜んで教えてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい遊びの中に発達支援に必要な専門的な視点を取り入れるよう努めています。また、苦手に感じていたことも成功体験や楽しかった体験を通して、自信や意欲を育むことに繋がることを目指し日々の療育実践に努めています。 ・通所を嫌がりながら登園した際は、お子さまの気持ちを受け止めながら、「来てみたら楽しかった」と思えるような経験に繋がるよう支援しています。 ・活動内容については「できた、嬉しい」という気持ちを大切にしながら、お子さまの年齢や発達段階に応じて課題設定することができるよう今後も努めていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	34	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・大変満足している。 ・親も子どもとても満足している。 ・相談したい時はいつでも丁寧に対応してもらい、ありがたい。 ・時間が短いのか、あまり本人の印象に残っていない。 ・根気強く接したり、温かく見守ったりしてもらえてありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の悩みが改善される具体的な提案ができるよう、公認心理師や理学療法士、言語聴覚士の意見を取り入れたり、職員全員で改善策についての話し合いを重ねたりしながら対応力向上に努めます。 ・日々の送迎の際や個別相談、ペアレント・プログラムの実施、ご意見箱の設置をしていますが、今後も職員一同で保護者の皆さまが意見を出しやすい環境を整え、お子さまやご家族の方が安心し、満足できるサービス提供ができるよう努めていきます。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。